

第26回 一般教育部セミナーの開催

『第二言語習得学における 第一言語の影響と言語相対論』

日時：2019年3月18日（月）

午後4時30分～午後5時30分

（45分の講演と15分の質疑応答）

場所：相模原キャンパス L1号館 4階 42講義室

演者：野口 敬未（一般教育部 基礎教育センター）

大人が第二言語を学習する際、第一言語の影響が強く出ます。その影響は第一言語と第二言語が似ている場合にはプラスに働くのですが、似ていない場合には克服しにくいマイナスのものとなります。

それでは母国語とは似ていない第二言語を長期的に学習・使用し、上級話者となった学習者たちは第一言語の影響をどこまで克服でき、まだ第一言語の影響が残っているとしたら、第一言語のどの部分の影響が残っているのでしょうか。

私の研究では、成人した日本人の中で、英語環境に5年以上居住したいわゆる「英語上級学習者」の発話を分析することにより、果たして第二言語習得に上限があるのか、もしあるのであれば、第二言語のどの点が学習可能でどの点が学習困難なのかに迫ります。

主催：北里大学一般教育部研究委員会

共催：一般教育部基礎教育センター

連絡先：一般教育部 研究委員長 大石

(t-ohishi@kitasato-u.ac.jp)